# 事 案 一 覧 表

申請種別:乗合バスの上限運賃変更

令和 5年 6月 6日 自動車局旅客課

諮問いたしたい事案 阪急バス株式会社(大阪府・兵庫県:京阪神ブロック)

# **人**

上限運賃変更を申請した乗合バス事業者の申請内容・・・・	1
阪急バス株式会社(大阪府・兵庫県:京阪神ブロック)	
申請事業者の概要・・・・・・・・・・・・・・	2
上限運賃改定申請の概要・・・・・・・・・・・	3
参考資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・	_

# 上限運賃変更を申請した乗合バス事業者の申請内容

事	業	者	名	阪急ノ	ドス(株)
前	前々回改定実施年月日			平成26年4月1日	
前	々 回 平	均值	上 率	【大阪】3.04% 【兵庫】2.59%	
前	回改定	実 施 年	月 日	令和元年10月1日	
前	前 回 平 均 値 上 率			【大阪】1. 69% 【兵庫】2. 07%	
現	行上限運賃と	改定運賃	の比較	現行上限運賃	申請上限運賃
キ	ロあが	こ り 貸	重 率	33円60銭	38円60銭
初	乗	" 運	賃	160円	190円
平	均	<b>次</b> 定	率	【大阪】1 【兵庫】1	
申	請	手 月	日	令和5年3月31日	
実	施	予定	日	令和5年9月1日	

# 京阪神ブロック

# 阪急バス株式会社

#### (1) 申請事業者の概要(令和3年度)

<b>ル</b> 主 老 夕	資本金	++ -	(0/)		事業収入ウエイト	及び経常収支率	
代表者名	(百万円)	株	(%)	事業別	規 模	収入ウエイト	収支率
代表取締役社長		1. 阪急電鉄株式会社	100.00	一般路線	842 両	72.8 %	81.3 % [ 85.9 % ]
				うち 大阪	415 両	37.7 %	82.2 % ( 86.2 % )
いば ひろし 井波 洋	100百万円			うち 兵庫	381 両	33.0 %	82.7 % [ 86.8 % ]
21 %				うち 京都	46 両	2.1 %	55.6 % [ 71.8 % ]
				高速バス	56 両	3.5 %	56.5 % [ 56.5 % ]
				その他		23.7 %	127.1 %
				イ	37 両 9 両	2.6 % 0.5 %	222.5 % 105.1 %
				の貸ビル事業		2.0 %	351.6 %
				他 駐車場事業		0.1 %	377.9 %
				売店事業の		0.2 %	80.6 %
				日期単版冗争耒		0.1 %	16,944.8 %
				内リース事業		0.1 %	80.6 %
				訳では、できまれている。また。また。また。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、		18.1 % 0.0 %	112.8 % 16,275.7 %
				全 事 業		100.0 %	87.4 % ( 91.0 % )
<b>Y</b>	机吸给定义	ID 7 12 022 027 T			<b>Y</b>	/ \	4.11 7.11n <del>1.</del> 15

※ 一般路線運送収入

12,023,827 千円

※ ( )内は補助金込み収支率 規模及び総従業員数は年度末の値

# (2)上限運賃改定申請の概要

項目	現 行 運 賃	申 請 運 賃
普通旅客運賃 改定申請内容	【大阪】特殊区間制 1区 220円 2区 240円 3区 260円 4区 280円	【大阪】特殊区間制 1区 250円 2区 270円 3区 290円 4区 310円
	対キロ区間制 基準賃率 33円60銭 初乗運賃 160円	対キロ区間制 基準賃率 38円60銭 初乗運賃 190円
	【兵庫】均一制 芦屋市内の特定地域 220円 有野藤原台地区  210円	【兵庫】均一制 芦屋市内の特定地域 250円 有野藤原台地区 250円
	特殊区間制 1区 220円 2区 240円 3区 260円 4区 280円	特殊区間制 1区 250円 2区 270円 3区 290円 4区 310円
	対キロ区間制 基準賃率 33円60銭 初乗運賃 160円	対キロ区間制 基準賃率 38円60銭 初乗運賃 190円
	対キロ区間制 初乗運賃 170円 (基準賃率44円30銭)	対キロ区間制 初乗運賃 190円 (基準賃率44円30銭)
	【大阪】【兵庫】 対キロ区間制の遠距離逓減率 2.0 キロまで 基準賃率の 2.0 倍 2.0 キロを超えて 10.0 キロまで 基準賃率 10.0 キロを超えて 20.0 キロまで 基準賃率の 0.9 倍 20.0 キロを超えて 30.0 キロまで 基準賃率の 0.8 倍 30.0 キロを超える部分 基準賃率の 0.7 倍	【大阪】【兵庫】 対キロ区間制の遠距離逓減率 2.0 キロまで 基準賃率の 2.0 倍 2.0 キロを超えて 10.0 キロまで 基準賃率 10.0 キロを超えて 20.0 キロまで 基準賃率の 0.9 倍 20.0 キロを超えて 30.0 キロまで 基準賃率の 0.8 倍 30.0 キロを超える部分 基準賃率の 0.7 倍
平均値上率	(前回改定) 【大阪】 1.69 % 【兵庫】 2.07 % (前々回改定) 【大阪】 3.04 % 【兵庫】 2.59 %	【大阪】 12.13 % 【兵庫】 10.71 %
備考	前回改定年月日 令和元年10月1日 前々回改定年月日 平成26年4月1日 (備考)いずれも消費税率引上げに伴う転嫁改定	申請年月日 令和5年3月31日

<sup>※</sup> 現行定期運賃(1ヶ月)の計算方法 通勤:普通旅客運賃(基準運賃額)×推定乗車回数(60回)×[1-割引率(25.0%)]

通学:普通旅客運賃(基準運賃額)×推定乗車回数(60回)×[1-割引率(38.0%)]

<sup>※</sup> 改定定期運賃(1ヶ月)の計算方法 通勤:同上・変更なし 通学:同上・変更なし

#### 阪急バス株式会社の上限運賃改定に係る参考資料

#### <u>I. 一般事項</u>

#### 1.今回の運賃改定の申請に係る地元の反響

令和5年3月31日の申請同日にプレスリリース後、新聞社(地方紙)1社より電話による問合せがあり、記事が掲載された。その他、自社ホームページのお問合せフォームにて、現在のところご意見が1件、ご質問が3件あったが、いずれも当社の運賃改定の申請に反対する趣旨のものではない。

#### 2.住民の運賃改定に関する負担感等について

(1)主要区間での鉄軌道との比較(現行、改定後)

	鉄軌道		阪急バス		
区間	事業者(路線)	運賃	系統	現行運賃	改定後 上限運賃
豊中~千里中央	阪急宝塚線、大阪モノレール	460円	40系統ほか	220円 (0. 48倍)	250円 (0. 54倍)
豊中~桃山台	阪急宝塚線、大阪モノレール、 北大阪急行	560円	20系統ほか	220円 (0. 39倍)	250円 (0. 45倍)
吹田~桃山台	阪急京都線、大阪メトロ、 北大阪急行	570円	2系統ほか	240円 (0. 42倍)	270円 (0. 47倍)
石橋~茨木	阪急京都線、阪急宝塚線	290円	92系統	260円 (0. 90倍)	290円 (1.00倍)
伊丹~川西能勢口	阪急神戸線(伊丹線)、 阪急宝塚線	290円	62系統	240円 (0.83倍)	270円 (0. 93倍)

#### (2)エリア内各事業者の概要【別紙参照】

#### Ⅱ. 会社の状況

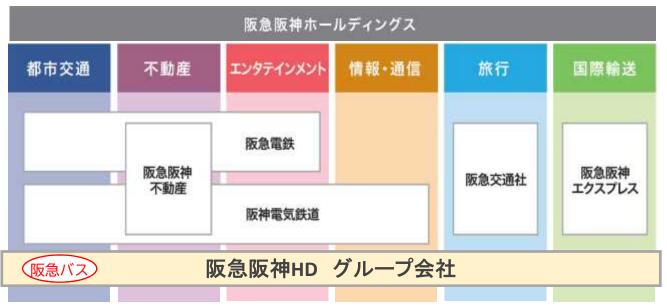
#### 1. 経営方針としての乗合バス事業の位置づけについて

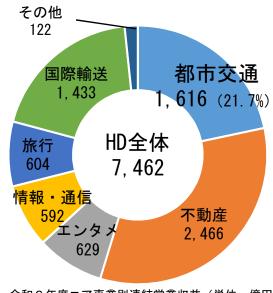
(1) 阪急阪神ホールディングスグループの概要

阪急阪神ホールディングスグループは「都市交通事業」や「不動産事業」をはじめとする6つのコア事業、98の連結子会社(令和3年度末時点)により、沿線内外において多岐にわたるサービスを展開する企業体である。

令和3年度の連結営業収益は7,462億円であり、そのうち約2割にあたる1,616億円が鉄道 事業やバス事業等により構成される都市交通事業の営業収益である。

都市交通事業については、特にコロナ禍による生活様式の変化・多様化の影響を大きく受けているところ、新たな移動需要の創出や旅客需要に適合した運行、新技術の活用による旅客サービスや生産性の向上に取り組んでいる。





令和3年度コア事業別連結営業収益(単位:億円)

#### (2) 阪急バスの乗合バスの事業概要

阪急バスは、阪急電鉄・能勢電鉄・北大阪急行・神戸電鉄の各鉄道沿線を中心に2府1県 23市町にまたがるエリアを運行している。

路線の特徴として、大阪市や神戸市といった大都市の市内中心部をほとんど運行せず、豊中市、吹田市、西宮市といった住居地域が主たる営業エリアとなっており、各鉄道路線からのフィーダー輸送が主である。また、郊外地域の生活路線として、非採算ながら地域の足としての役割を担っている路線も複数有している。

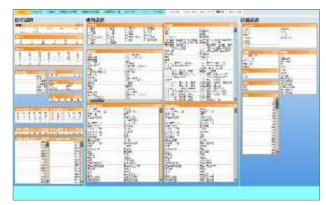
いずれもほとんどが生活路線であり、観光路線を有していないことから、インバウンド旅客の多寡ではなく、人口減少や高齢化、コロナ禍による生活様式の変化等、沿線住民の利用状況に影響を受けやすい経営環境にある。

大阪府(11市町)	大阪市、高槻市、 茨木市、吹田市、 摂津市、豊中市、 池田市、箕面市、 豊能町、能勢町、 島本町
兵庫県(8市町)	神戸市、芦屋市、 西宮市、尼崎市、 伊丹市、宝塚市、 川西市、猪名川町
【参考:申請対象外】 京都府(4市町)	京都市、向日市、 長岡京市、 大山崎町

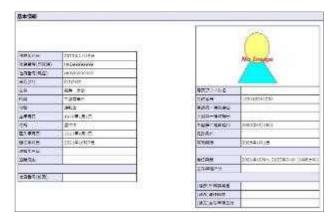


#### 2. 今回の改定を契機とした合理化策について

- コロナ禍以前からの継続的な取組みとして、動向分析システムを用いて解析した人口動態や利用実態を踏まえ、路線やダイヤ、車両運用の最適化に向け、不断に見直しを実施していく。
- ・ また、業務のデジタル化による労働生産性及び作業精度の向上施策として、人事基本情報システム、乗務員台帳システム、事故管理システム、健康管理システム等各種システムを統合し一元的な管理を実施予定である。



動向分析システム(操作画面)



乗務員台帳システム (イメージ)

# 3. 乗客サービスの充実、バリアフリー対策等快適なバス利用促進のための施策について (1)お客様サービスの充実

#### • 利便性、経済性の高い乗車券の設定

平成24年4月に導入したハウスICカードのhanica (ハニカ) は、チャージ金額の8%分がプレミアとして付与される。また、平成26年に導入したhanica定期券は、設定した停留所間のみが適用区間となる「区間式」ではなく「金額式」とし、券面運賃以下の区間について基本的に乗降フリーとなっているほか、平成28年に阪神バス㈱と共通利用とすることで汎用性を高めている。

また、通勤定期券については持参人有効とすることで、家族での共用など柔軟な利用を可能としている。

その他、学生や高齢者に対して、より割引率の高い学期式定期券(スクールパス)、高齢者定期券(グランドパス)を設定している。

#### • 運行状況情報(リアルタイム情報)等の提供

バスロケーションシステムを平成29年に導入し、自社HPで利用者に運行状況、接近情報を提供しており、令和5年3月からはバス情報標準フォーマット(GTFS-RT)の形式でグーグル社(米)に提供し、グーグルマップ上でリアルタイムの位置情報を表示することが可能となった。

また、停留所での新たな情報提供施策として、令和5年3月より 阪急池田駅のターミナルにおいて、デジタルサイネージ(スマー トバス停)を導入し、時刻表や運行状況情報を発信している。



hanica通勤定期券



リアルタイム情報の提供

#### • お客様サービスの向上に向けた教育

利用者からのお褒めやご意見の情報連携や各営業所のCS目標の達成状況、対応力の向上を目的とし、本社運輸部門のCS担当と現場(営業所)の責任者にてCSミーティングを定期的に開催しCS向上の施策の推進を図っているほか、外部講師を招聘し、現場の責任者に対しロールプレイ方式の教育を実施、現場において責任者から運転士へ水平展開している。





CSミーティング





お客様対応研修

• 新たな輸送形態(AIオンデマンドバス)による地域の課題解決への取組み

令和5年2月の1ヶ月間、大阪府豊能町(デジタル田園都市に採択)の西地区において、 ワンボックスタイプ車両4台でのAIオンデマンドバスの実証運行(無償)を実施。

従前より定時定路線の乗合バスとしては非採算路線となっていたところ、公共交通の確保・維持、最適化による地域住民の生活の質の向上に向けた方策として、豊能町やタクシー事業者と協働して取り組んだ。なお、令和5年度下期には、本格運行導入を見据えた有償での実証運行を計画し、取組みを進めている。





実証運行(無償)開始に係るプレスリリース資料

#### (2)バリアフリー施策の推進

#### • ノンステップバスの導入推進

国の目標「令和7年度に乗合バス車両(適用除外認定車両を除く)の約80%をノンステップバスとする」の達成に向けて、車両の代替にあたって順次ノンステップバスを導入しているところ(令和4年度末時点:72.4%)。当社個社単位では、令和7年度中に80%に到達する見込みである。

#### • 障がい者割引対応ICカード等の取扱い

タッチのみで障がい者割引運賃を適用する「特別割引ICカード」をハウスICカードのhanicaにて2012年4月の導入(全国に先駆けた取組)。加えてスルッと KANSAI協議会にて導入している「特別割引用ICカード」も利用可能としている。また、障がい者割引の適用時において、障がい者手帳アプリ「ミライロID」での本人確認を可能とする取扱いを令和3年6月より開始した。





スルッとKANSAI特別割引用ICカード (出典:(株スルッとKANSAIホームページ)



#### (2)バリアフリー施策の推進

#### • 運輸局等と連携したバリアフリー教室の開催

近畿運輸局や行政と連携し、地域の小学生や一般市民対象のバリアフリー教室を開催している。 バリアフリー教室においては、車椅子を使用したバスへの乗車体験(スロープでの乗車や車内での固定)、視覚障がい者の体験を通し、バスのバリアフリー設備への理解を深めるとともに、公共交通利用における「心のバリアフリー」や「譲り合いの精神」の重要性を伝えている。

#### • 「サービス介助士」資格の取得推進

「障害の社会モデル」の考え方を基礎とした、 接遇の実践に向けて「サービス介助士」資格の取 得を推進している(令和3年度末時点取得人数: 425名)。

# • <u>障がい者団体によるバリアフリー教育の受講</u>

障がい者団体を講師に招聘し、運転士や現場責任者に対するバリアフリー教育を実施している。



バリアフリー教室(出典:近畿運輸局プレスリリース)



サービス介助士 (出典:日本ケアフィット共育機構)

#### (3)利用促進の取り組み

#### • 通勤定期券を活用した割引施策「環境お出かけ割」

土日祝日において、通勤定期券利用者の同伴家族が大人 100円、小児無料で乗車可能となる制度。同伴家族の人数 制限はなく、土日祝日の自家用車での外出からの転移を促 進している。

#### • 自治体と連携した利用促進

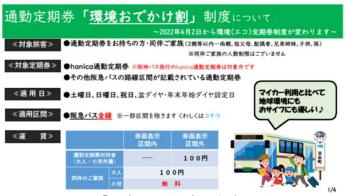
豊中市や吹田市と連携し、転入者や小学生を対象に期間限定で無料乗車券を配布、当社路線の周知やバスへの親近感を醸成する取組みを実施。また、乗り方や乗車券、路線等に関する当社作成冊子「阪急バスのノリセツ」を各自治体窓口等において令和3年より配布している。

#### • 小学生対象の「バスの乗り方教室」

自治体や運輸局との協働でのモビリティマネジメントの 取組みとして、沿線の小学校への出張授業「バスの乗り方 教室」や「バリアフリー教室」を2000年代より継続的に実 施。バスへの親近感の醸成や地域における公共交通の重要 性、バリアフリーの精神の浸透に取組んでいる。

• お客様向けイベント「お客様感謝Day」の開催

利用者への感謝を表すイベントとして「お客様感謝 Day」を平成22年より継続実施。グッズ販売のほか、バス 車両へのペイント(実際に運行)など体験型のコンテンツ を設定している。



「環境お出かけ割」制度



阪急バスのノリセツ



モビリティマネジメントやイベントの取組み

#### (4) 脱炭素化に向けた取り組み

#### • 電気バス (EVバス) の導入推進

国や自治体の支援も受け、令和3年度に当社として初めて2台、令和4年度には4台導入し、北摂地域の一般路線や大学の学舎間輸送において運行している。カーボンニュートラルに向けた取り組みの一環として、令和5年度以降も継続的に導入を進める予定である。

電気バスは災害時において、車両に搭載する蓄電池から 事業所へ電気を供給することができるなど、BCPや災害対策 の観点でも有効である。

#### • バイオディーゼル燃料の活用

平成20年12月から令和4年7月まで、当社の社員食堂や阪 急阪神ホールディングスグループ関連の一部のホテルやマ ンションから排出される使用済み食用油から生成されたバ イオディーゼル燃料を使用し一部のバスを運行していたほ か、令和2年には、同燃料で稼働する発電機を営業所に導入 した。

#### • グリーン経営認証の取得

従前よりバイオディーゼル燃料の活用やハイブリット車両の導入に取り組んでいることから、環境保全活動や環境負荷の少ない事業運営に取り組んでいる運輸事業者への認証制度「グリーン経営認証」(認証機関:(公財)エコロジー・モビリティ財団)を近畿圏の乗合バス事業者において初めて取得した。



電気バスの導入



バイオディーゼル燃料対応バス



グリーン経営認証 (出典:エコロジー・モビリティ財団)

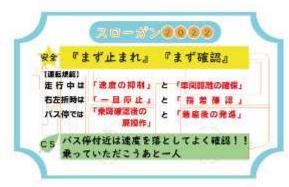
#### 4. 安全対策の基本方針について

#### (1) 安全に関する基本方針

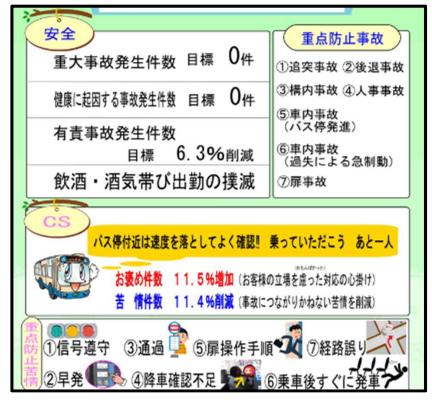
当社では、平成19年に安全宣言を制定し、輸送の安全の確保・向上に取り組んでいる。 また、平成26年度より毎年、安全運行に関する明確で具体的なスローガン「安全スローガン」を設定しているほか、毎年度、事故発生状況等の分析結果を踏まえ、具体的な「重点目標」を設定している。



安全宣言



安全スローガン



重点目標

#### (2) 具体的取組み(令和4年度)

事故やヒューマンエラーの防止にあたり、安全性向上に資する設備や機器の導入といったハード面の取組みと、より確実に安全な執務・動作に繋がる運転士の作業手順の見直しや周知徹底といったソフト面の取組みの両面を推進しているところ。

#### 【ハード面】

- ドライバー異常時対応システム(EDSS)等、先進安全技術搭載車の導入促進による 安全性向上。
- ヘッドライトのLED等への変更や左サイドビューカメラの導入、右アンダーミラーの 新設、左アンダーミラーの大型化により安全確認のための視認性向上。
- ドライブレコーダー (6カメラ)の代替更新による事故の状況把握と原因究明、再発防止対策への有効活用。



ドライバー異常時対応システム(EDSS)の導入



右アンダーミラーの設置



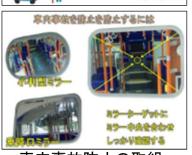
アンダーミラーの大型化

#### (2) 具体的取組み(令和4年度)

#### 【ソフト面】

- 利用者の高齢化の状況も踏まえ、車内事故の防止に注力。運転士にミラーの確認やマイクアナウンスの活用の徹底を教育したほか、利用者向けにも注意啓発ポスターを掲出
- 入庫等の後退時の事故防止のために2段階バックを基本動作として周知・徹底
- 入庫時等、眠っているお客様や不審物をより確実に確認するための「ジグザグ手法」による車内点検の周知・徹底
- その他、扉の開閉時の作業手順の遵守、右左折時の一時停止、停止時のサイドブレーキ の励行等について、事故防止に有効である理由とともに周知・徹底
- 安全統括管理者と現業従業員とのコミュニケーションツールとしてWEB方式で容易に提案できる安全目安箱を設け、輸送の安全に関する情報の収集の促進





車内事故防止の取組

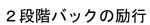
















車内点検の徹底



安全目安箱 17

経営トップ以下全社的な対応を訓練する「緊急事態対策合同訓練」を実施し、大規模自然災害発生時における対応力の強化と体制整備を図ったほか、豊能営業所において、所轄の警察署と連携したバスジャック対応訓練を実施し、非常事態における対応力や連携の強化を図った。

#### 緊急事態対策合同訓練

















WEB会議を活用した緊急会議

車両避難

緊急発電機による給油

止水対策

#### バスジャック対応訓練



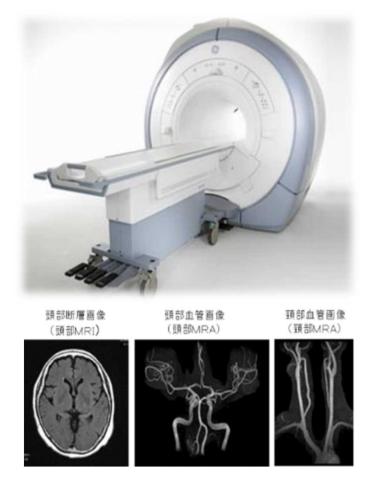




• SAS (睡眠時無呼吸症候群)検査や脳ドック検査等の法定健康診断以上の内容を継続的に実施し、健康起因事故の防止を図った。



SAS(睡眠時無呼吸症候群)検査



脳ドック検査 (MRI • MRA)

• 運転技能、接遇、法令の3部門を各営業所からの選抜運転士で競い合うドライバーズ コンテストを開催し、安全意識や運転技術、モチベーションの向上を図った。



社長による開会挨拶



接遇面に係る競技



運転技能に係る競技①



運転技能に係る競技②

その他、各種表彰等を実施し、安全意識やモチベーション向上、水平展開を図った。

- 優良営業所表彰、優良運転士表彰
- お客様からお褒めをいただいた運転士への表彰(ゲットサンクス賞)→年間で最も優れた内容を表彰する「ゲットサンクス大賞」を令和2年度に設定し、 更なるモチベーション向上を図っている
- 優良運転士と経営トップ、経営管理部門との懇談を実施し、内容を社内誌にて展開













優良営業所表彰

ゲットサンクス賞

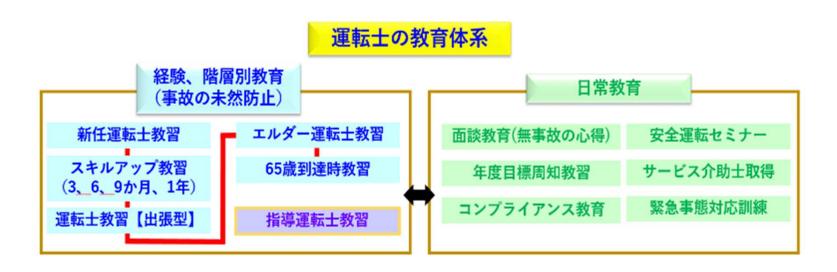
優良運転士表彰及び懇談会

#### (3)輸送の安全に関して実施した教育及び研修

#### • 教育体系

全運転士に対し、経験・階層別教育と日常教育を積み重ねながら、事故惹起者に対しては重点的に再発防止教育を実施している。特に教習所職員が各営業所に出張して実施する「運転士教習【出張型】」(2年毎)と、毎月テーマを定め営業所責任者から運転士に対して実施する「面談教育(無事故の心得)」を教育の中心に据え、全運転士のスキルや安全意識の向上、醸成を体系的・組織的に図っている。

また、いずれの教育においても、体験型・対話型の内容を構成し、運転士自らが「気づく力」の醸成に注力している。



• 具体的な教育内容(令和4年度)

年度当初に運輸部門長のメッセージDVDの視聴により安全スローガン、重点目標など年度方針の浸透を図ったほか、以下の教習を実施した。

- 高齢者の身体機能及び行動特性に関する教育を含んだ「車内事故防止教育」
- 視野と視線を客観的に把握するためのアイマークレコーダーを活用した「アイマークレコーダー教習」
- 視機能低下の可能性がある高齢運転士の事故防止を図るための「高齢運転士教習」
- 後進の育成を担う指導運転士の指導の質を高める「指導運転士教習」









年度目標周知教育

車内事故防止教育

異難者が構想しているのを見て、よっ

すぐ機関しているものと思っていると、 斜の機能のため、自由が接近しても使 気として視着途中ということがありま

















アイマークレコーダー教習

高齢運転士教習

動体視力計 コーワ AS-4Fa 電動式深視力計 コーワ

指導運転士教習

• いずれの教習においても教材については、新人運転士を含め、十分な理解が図れるよう、視覚的にわかりやすい動画等を内製するなどし、活用しているほか、個人のスマートフォンでも視聴可能としているものもあり、自学自習の意欲や安全意識を醸成している

#### 動画教材の例









扉操作手順について<再掲>



2段階バックについて<再掲>



車内点検について〈再掲〉

# 5. 過去3年間における大きな事故(一般路線バス)

	第一当事者	第二当事者	合計
令和2年度		2件	2件
令和3年度	_		O件
令和4年度	1 件	2件	3 件

#### Ⅲ 地方路線維持の状況

#### 1. 赤字路線に対する対策、関係自治体との協働、連携の状況について

#### (1)広報啓発

- 自社HPや公式Twitterにおける運行情 報や沿線イベント情報等の発信(令和 2年度より)
- 乗り方や乗車券、路線等に関する当社 作成冊子「阪急バスのノリセツ」を各 自治体窓口等において令和3年より配 布。〈再掲〉







阪急バスのノリセツ

公式Twitter

- (2)関係機関と連携したイベント事業の実施
- グループ各社も出展するお客様向けイベント「お客様感謝Day」の開催<再掲> (平成22 年度より)
- スルッとKANSAI協議会が主催する「バスまつり」への出展(平成13年度より)
- 自治体や運輸局との協働でのモビリティマネジメントの取組みとして、沿線の小学校へ の出張授業「バスの乗り方教室」や「バリアフリー教室」を2000年代より継続的に実施。 〈再揭〉
- 自治体(豊中市)と協働で実施した沿線巡りスタンプラリー(令和3年度)
- 阪急阪神HDグループの各交通モードと連携した謎解きゲームイベント「ナゾときっぷ」 への参画(令和4年度)
- その他、各営業所単位で自治体の催事における車両展示等の取組み

また、特に郊外部の路線の位置する自治体に対して収支状況を共有する等、今後の路線の あり方に対する検討を働きかけ、クロスセクター効果の政策立案への活用等に繋げている。 27

## 2. 地方自治体が行っている助成内容と自治体との協調について

- ・路線の休廃止状況、みなし4条の状況、地方自治体による支援状況
- (1) 路線休廃止(直近3カ年分)

	休止	廃止
令和2年度	加島線	園田線
令和3年度	<b>茨木水無瀬線</b>	豊中病院線·阪北線(一部区間) 東部三田線·宝塚線
令和4年度	表六甲線(一部区間) エキスポシティ線	三田線

### (2) 国庫補助路線(直近3カ年分)

対象路線:西宮山口線(さくらやまなみバス)

	地域間幹線系統補助	車両減価償却費補助
令和2年度	18, 143千円	なし
令和3年度	21, 307千円	500千円
令和4年度	23, 535千円	6, 050千円

#### (3) 地方自治体による支援状況

◎不採算路線(当社全路線/コミュニティバス含む)に対する欠損補助

令和2年度 408,746千円

令和3年度 468,189千円

令和4年度 441,017千円

# 別紙

# 路線図

